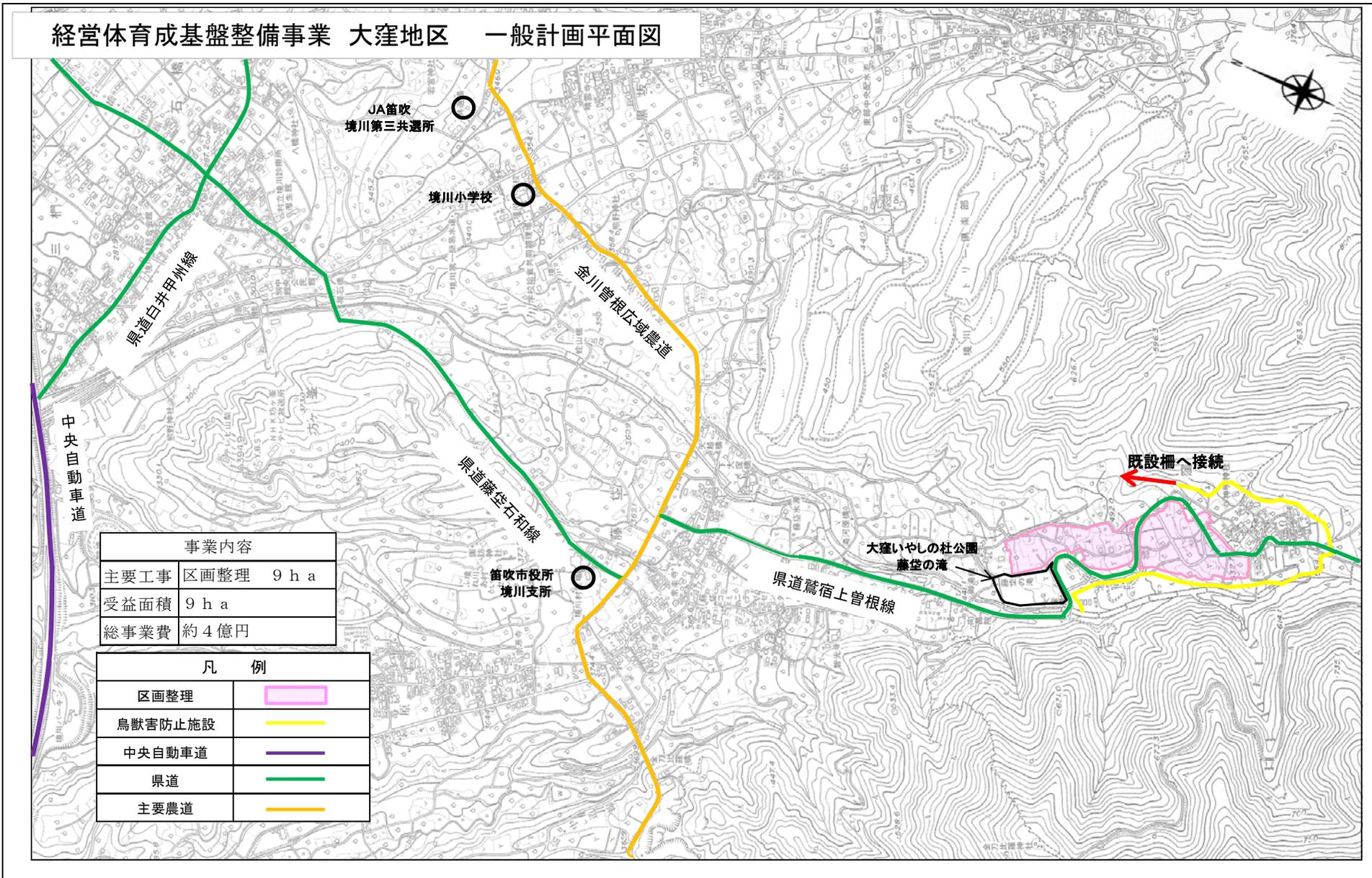


1. 事業評価説明シート

(区分) **国補**・県単

事業名	経営体育成基盤整備事業（国補）	事業箇所	笛吹市境川町大窪	地区名	おおくぼ 大窪	事業主体	山梨県															
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 本地区は旧境川村の御坂山地北西斜面に位置し、水稻や養蚕が営まれていたが、樹への転換が図られ、もも・すもも・ぶどうを中心とした果樹地帯である。しかし、地域内の基盤整備は十分ではなく、営農効率が悪いことや獣害もある。また近年では高齢化や後継者不足が深刻化し、耕作放棄地も増加してきているなど多くの課題を抱えている。このため農業基盤の整備を導入し農作業効率の向上、耕作放棄地解消を図る。また農地中間管理機構を活用し新たな担い手への農地集積を行い、果樹産地の維持を図っていく。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得増加額 3,835千円/ha≥810千円/ha※</p> <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上 ・施設老朽度 使用年数(30年)÷耐用年数(15年) =2.0≥1.0※ ・用排水能力向上率 (計画排水能力 0.15m³/s)÷(現況排水能力0.11m³/s) =1.36 ≥ 1.0※ (※評価基準値)</p> <p>□副次効果 ○遊休農地の解消 ○重要プロジェクトとしての位置づけ（新やまなし農業大綱）</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・本地区の整備は食料・農業・農村基本法に位置づけられている、農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきである。</p> <p>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・農地耕作条件改善事業実施要綱第4により県が事業主体となって行うべきである。</p> <p>③経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>費用便益費 便益 (B) /費用 (C) = 1.6 > 1.0 ・便益 (B) = 597.9百万円、・費用 (C) = 384.1百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・営農条件を改善する上で必要な整備量としている。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・受益面積規模、事業対象工種から、農地耕作条件改善事業要綱・要領に基づき対応することが妥当である。</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・工事の際は、環境等への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・早期着工の要望あり</p> <p style="text-align:center">総合評価 【貢献度ランク：a】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>																		
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 区画整理 1箇所 A=9ha 鳥獣害防止施設 L=1,900m</p> <p>②着手年度 平成30年度 ③完成見込年度 平成34年度</p> <p>④総事業費 約4億円 (国費2億円(5/10),県費1.1億円(2.75/10),市費等0.9億円(2.25/10))</p> <p>⑤全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>測量・設計</td> <td>20百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>区画整理、鳥獣害防止施設</td> <td>120百万円</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>区画整理、鳥獣害防止施設</td> <td>120百万円</td> </tr> <tr> <td>平成33年度</td> <td>区画整理、鳥獣害防止施設</td> <td>120百万円</td> </tr> <tr> <td>平成34年度</td> <td>区画整理</td> <td>20百万円</td> </tr> </table> <p>⑤既整備内容・期間・事業費 ・該当なし</p>				平成30年度	測量・設計	20百万円	平成31年度	区画整理、鳥獣害防止施設	120百万円	平成32年度	区画整理、鳥獣害防止施設	120百万円	平成33年度	区画整理、鳥獣害防止施設	120百万円	平成34年度	区画整理	20百万円	<p>【事業位置図等】</p>			
平成30年度	測量・設計	20百万円																				
平成31年度	区画整理、鳥獣害防止施設	120百万円																				
平成32年度	区画整理、鳥獣害防止施設	120百万円																				
平成33年度	区画整理、鳥獣害防止施設	120百万円																				
平成34年度	区画整理	20百万円																				

2. 添付資料シート(1)



2. 添付資料シート (2)

現地農地状況

現地農地の状況



破損している水路



幅員狭小な農道



区画整理のイメージ

整備前

- 現在営農している農地(代表箇所)
- 耕作放棄地(代表箇所)

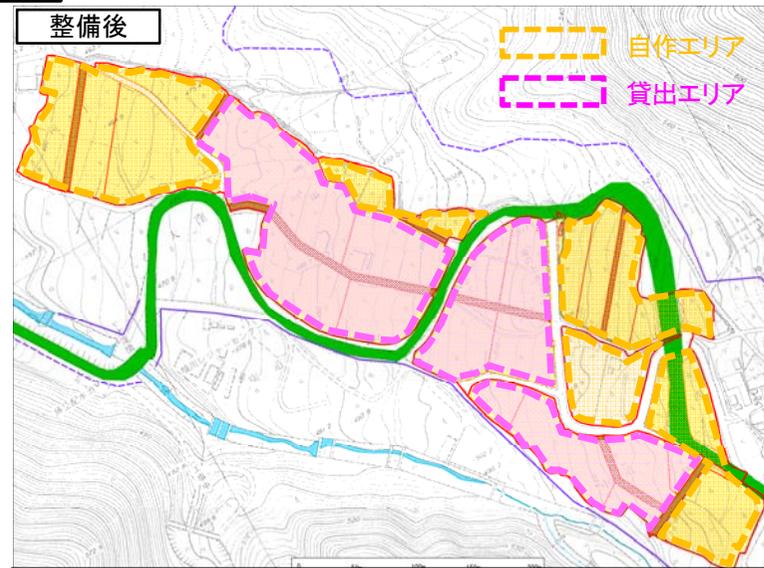


小区画な圃場が多く、6割が耕作放棄になっている



整備後

- 自作エリア
- 貸出エリア



区画の大区画化を計画、自作エリア・貸出エリアを設定し
営農効率の向上と農地の集積・集約を図る